平成 28 年度実施 新規事務事業マネジメントシート 作成日: 平成 28 年 12 月 16 日

事務事業名		総合公園野球場スタンド外壁塗装工事				事	後(中間)評価対象事業	Į			
総	政策				よ人を育むまちづくり)	所属	誤課	生涯学習課	担当	社会体育担当
総合計画	施卸		0 2	スポー	-ツ・レクリエーション	の普及推准	課長		寺田 正		若目田 崇行
画 ^{爬泉石} 予算科目		0 <u>5</u> 会計	款	項 目 事業	事業コード	呂 関係活	去 令•	7 H II		71111	
サリス アリス アリス アリス アリス アリス アリス アリス アット アンド アイ・アイ アイ・アイ・アイ アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・ア		1	0 7 単年度 <i>0</i>	0:3 0:2 0:0		里費 条例 年度		期間限定(年度)	
争耒期间			1 事	務事業	其概要						+皮/
(事	事業 <i>の</i> 務事業 字を記載	の内	2 概	算事業		アンドの外壁を塗装し	.、継続して安	全で	快適に利用できるように	こする。	
① Pi	(1) 事務事業の目的と指標 ① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等) 野球場スタンド外壁塗装工事 ② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載) 改修・補修必要箇所 ② では、 (4) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ② がまままます。 (4) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ② がおりませるでは、 (5) 対象指標(対象の大きさを表す指標) ② がままままます。 (5) 対象指標(対象の大きさを表す指標)										単位 式 単位 箇所
<u></u>											四//
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載) 改修・補修必要箇所を減らして、施設を健全に維持していく。 ○ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) - 名称 - プロ 改修・補修必要箇所 - イ											
(2) 指標・総事業				単位	平成28年度	平成29年度	平成30年	度	平成31年度	平成32年度	平成32年度 総合計画 最終年度
江玉	動指標	ア ア 漢	標値	式式		1					0
活男		イ ig	標値 く く 積値	0							0 0
		アニ	標値	箇所 箇所		1					0
対象指標		美	<u>積値</u> 標値 議値	箇 <u>所</u> 0							0
			₹積値 標値	0 箇所		0					0
成果	見指標	/ [漢	績値	箇所 箇所							0 0
	-	イ児	標値	0							0
		計画			平成28年度	平成29年度	平成30年	度	平成31年度	平成32年度	平成32年度
投事	別	国庫支 県支	出金	千円 千円 千円							0 0
入業	人 内	地方 その	他	千円千円					<u> </u>		0 0
量費		一般則	オ源 (A)	千円	0	1,640 1.640		0	0		0 0
事業費計 実績					平成28年度	平成29年度	平成30年			平成32年度	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
投入量	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	国庫支 県支b 地方 その	岀金 ·倩	千円 千円 千円 千円							
	事業	費計	(A)	千円	0	0		0	0		0 0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果								
目 ① 公共関与の妥当性的 妥 なぜこの事業を町が行わなければな	公共施設の為	☑ 適切		□ 適切								
当 らないのですか? 税金を投入して、 性 達成するものですか? 評		□ 見直し 余地あり		見直し余地あり								
② 着手・実施の必要性有 のの事務事業をなぜ着手・実施しな	老朽化が進んでおり、現段階で対処 することでさらなる老朽化を防げるた め	☑ 適切		適切								
性 ければならないのか?先延ばしにで評さない理由は何か? 価		□ 見直し 余地あり		□ 見直し 余地あり								
③ 総事業費の算定根拠 効 率 算定にあたってコスト削減策を考え 性 たか?将来のコスト増要因に対して	現段階で対処することで、将来的に見てコストを抑えることができる。	✓ 適切		適切								
評 対策が考えられているか? 価		□ 見直し 余地あり		□ 見直し 余地あり								
④ 受益と負担との関係 公 平 事業の内容は受益と負担との公	受益者負担として施設使用料を徴している。	✓ 適切		適切								
平 事業の内容は受益と負担との公 性 平性が考慮されているか? 評 価		□ 見直し 余地あり		□ 見直し 余地あり								
3 事前評価結果 事前評価日: 平成 29 年 1 月 4 日												
(1) 事前評価者として判断した今後		採択										
(2)採択条件			□	日程等)								
4 成果検証		事後(中間	引)評価日: 平成 年	月 日								
事務事業実施後 の概要 (実施しての効 果、受益者等の 反応、問題点、 課題等を記載)												
(1) 評価結果(今後の方向性) 「優(成果大) 同食(良好) 可 不可(成果なし・中止・計画変更必要)												
(2) 総評 (3) 指示事項												
	, ·											
		□ 再評価対象事業										